

Economic Indicators

発表日: 2019 年 11 月 11 日(月)

2019 年7-9月期GDP予測(最終版)

～前期比年率+1.0%と、4四半期連続のプラス成長を予想～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

主席エコノミスト 新家 義貴(Tel: 03-5221-4528)

11 月 14 日に公表される 2019 年 7-9 月期の実質 GDP 成長率を前期比年率+1.0% (前期比+0.3%) と予測する。10 月 31 日の段階では前期比年率+1.1% (前期比+0.3%) と想定していたが、その後公表された経済指標の結果を反映し、予測値を微修正する。

本日公表された 9 月分の国際収支統計では、筆者の想定よりもサービス輸出が上振れた一方、財輸出が下振れたことから、実質輸出の予測値を前期比▲0.3% (従来予測値: 同▲0.2%) に若干下方修正した (実質輸入の予測値は前期比+0.3%で変更なし)。輸出は前期比マイナスを予想するが、これはサービス輸出の減少が主因であり、財輸出については前期比+0.8%と増加したとみられる。財輸出の下げ止まり感が窺えることは好材料だ。米国向けが弱いものの、アジア向けの電気機械輸出が持ち直しつつあることが寄与している。なお、7-9 月期の輸出については、日韓関係の悪化に伴って訪日外客数が減少したことで、非居住者家計の国内での直接購入が前期比▲7.2%の大幅減少になったとみられることも輸出の下押しに効いている (輸出を前期比で 0.3~0.4%Pt 程度押し下げ)。

その他、10 月 31 日時点で未公表だった 9 月分の家計調査と家計消費状況調査の結果についても反映を行った。駆け込み需要の顕在化から 9 月は家計調査、家計消費状況調査とも急増したが、概ね筆者の想定通りの結果だったことから、個人消費の予測値は前期比+0.7%で変更していない。

(需要項目ごとの予測値の解説は、「2019 年 7-9 月期 GDP (1 次速報) 予測」(10 月 31 日発行)をご参照ください)

2019 年7-9月期GDP予測

(%)	
実質 GDP	0.3
(前期比年率)	1.0
内需寄与度	0.4
外需寄与度	▲ 0.1
民間最終消費支出	0.7
民間住宅	0.5
民間企業設備	0.9
民間在庫変動(寄与度)	▲ 0.2
政府最終消費支出	▲ 0.1
公的固定資本形成	1.1
財貨・サービスの輸出	▲ 0.3
財貨・サービスの輸入	0.3
名目 GDP	0.4
(前期比年率)	1.6

※断りの無い場合、前期比(%)

(出所)内閣府「国民経済計算」、第一生命経済研究所

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

